

東アジア諸国は沖縄返還をどう見ていたのか
多言語にわたる膨大な史料を基にした力作

沖縄返還と 東アジア冷戦体制

—琉球／沖縄の帰属・基地問題の変容

成田千尋著 四六判上製 378頁 本体価格 4500円
ISBN:978-4-409-52085-7



1972年5月15日、27年間にわたるアメリカの沖縄統治に終止符が打たれた。しかし、「太平洋の要石」とされた沖縄の日本返還は、アジア・太平洋戦争、国共内戦に続き朝鮮とベトナムの熱戦を経ることになった東アジア周辺諸国にとっては、自国の安全保障を左右する重大事項であり、沖縄の帰属・基地の形態をめぐって日米への働きかけが何度も行われていた。本書は、日米に加え、台湾、韓国で収集した多言語史料を活用し、沖縄返還に至る複雑な交渉過程を実証的に明らかにするとともに、復帰をめぐる沖縄住民のたたかいをも立体的に描き出す。

●目次

- 第一章 東アジア冷戦体制の形成と米軍施政下の「琉球」
- 第二章 日韓関係の変容とベトナム戦争の本格化
- 第三章 沖縄返還問題の焦点化
- 第四章 沖縄「返還」の決定
- 第五章 米国の東アジア戦略の変容と沖縄返還の実現
- 終章 沖縄返還とは何だったのか

著者 成田千尋（なりた・ちひろ）1987年兵庫県生。京都大学大学院文学研究科現代史学専修博士後期課程修了。現在、日本学術振興会特別研究員（PD）。著作に、吉澤文寿編著『歴史認識から見た戦後日韓関係—「1965年体制」の歴史学・政治学的考察』（社会評論社、2019年）など。

人文書院 京都市伏見区竹田西内畑町9 TEL:075-603-1344 ご注文はこちらまで→ 人文書院FAX番号 **075-603-1814**

新刊注文書	番線印	販売条件／返条付注文	版元	人文書院	著者	成田千尋	担当者	
	書名		沖縄返還と東アジア冷戦体制 —琉球／沖縄の帰属・基地問題の変容 本体 4500円					
	冊		ISBN978-4-409-52085-7 ※フリー入帖いたします（了解者：佐藤）					
既刊注文書	番線印	販売条件／返条付注文	書名	沖縄闘争の時代1960／70 大野光明著 ISBN978-4-409-24098-4 本体 3800円				担当者
	書名		マブイの往来 —ニューカレドニア・日本 引き裂かれた家族と戦争の記憶 津田睦美著 ISBN978-4-409-24082-3 本体 2200円					
	発行所：人文書院 ※フリー入帖いたします（了解者：佐藤）							

ご担当者様名を必ず記入してください。ご記入が無い場合は取次会社様の方で指定を取り消される場合がございます。↑